

二〇一七年度HAPP公募企画

ATSUMORI 薩摩琵琶正派が描く 武士の生き様



絵巻「小敦盛」(室町末期～江戸初期) 慶應義塾図書館蔵

日時：平成29年10月13日(金) 18:15 プレトーク、18:30 開演
場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎イベントテラス
東急東横線、横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉駅」下車徒歩1分
(〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1)

弾奏者：東京薩摩琵琶正派「正絃会」(新井竜次、石田克佳、川村晋平)
鹿児島県薩摩琵琶同好会「龍洋会」(上川路直光、島津義秀)

解説：荒尾 努(慶應義塾大学 非常勤講師)

司会：中谷 彩一郎(同大学 文学部 准教授)

入場無料
全席自由

<主催・お問い合わせ>

慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)

e-mail hy-happ@adst.keio.ac.jp

企画：中谷 彩一郎(文学部 准教授)

【解説】

薩摩琵琶歌「小敦盛」は鳥津兵庫作と伝えられています。鳥津兵庫とは、戦国時代に実在した鳥津家第17代義弘（惟新）のことです。鳥津義弘は天文四（1553）年、鹿児島島の地に生まれ、元和五年（1619）年、85歳の生涯を遂げました。19才で初陣を飾り、1600年、天下分け目の関ヶ原合戦まで五十数戦に挑まれ、最後は「鳥津の退き口」と称された敵中突破を敢行し生きて薩摩まで戻られました。

薩摩琵琶は、1500年代半ば、義弘の祖父である鳥津日新齋が領土内の侍の子弟たちに人倫の道を解くため、「いろは歌」という道徳和歌を作歌し、その精神を広めるために琵琶歌にして流行らせたことが始まりであると言われていいます。そして明治維新に至るまで、薩摩藩内においては「郷中教育」と呼ばれる独特の教育現場において、先輩から後輩へと引き継がれてきました。明治維新後、多くの薩摩閥と呼ばれる人材が東京へ進出し中央の政財界の重要な位置を占めたことから、薩摩琵琶は全国的流行をきたし、従来の鹿児島の本家本元の琵琶から様々な流派を派生することとなり、今日まで進化を続けています。そこでそのような新思潮の流派と区別するために、従来からの鹿児島風の流れを東京では「正派」と呼ぶようになりました。

薩摩琵琶歌「小敦盛」は源平一ノ谷の合戦における平敦盛の最期を二段の語り物に構成したものです。初段は敦盛一ノ谷の出で立ちから、熊谷次郎直実が敦盛に戦いを挑むまでを叙しています。二段は敦盛・直実の一騎打ちから敦盛の最期と直実が無常を感じて遂に出家するに至るまでが語られます。初段、二段を通じてほとんど幸若舞の『舞の本敦盛』に寄るところが大きいとされ、当時、舞の本は正三位以上の高貴なものしか見ることが許されなかったとの説があり、また、家臣上井覚兼の日記にも天正年間当時に盛んに幸若舞を薩摩へ招聘していることから、作者は鳥津義弘に間違い無いであろうと言われていいます。

【解説】

荒尾 努

平曲（正調平家琵琶）弾き語り奏者。昭和54年東京生まれ。大学時代より著名な言語学者で平曲研究家でもあった故金田一春彦先生と琵琶奏者である須田誠舟先生の下で平曲を学び研鑽を積み、現在に至る。慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、三菱重工業㈱に勤務する傍ら、正統な平曲継承者としても活躍。平家に関連する各種イベントを中心に演奏、講演活動を行っている。また、平成19年からは慶應義塾大学非常勤講師（別科：日本語研修課程）となり、日本の伝統文化について講じている。



【弾奏者】

新井竜次

薩摩琵琶正派弾奏者。昭和32年東京生まれ。早稲田大学商学部卒業後、ライオン㈱に勤務。東京における薩摩琵琶正派の第一人者である須田誠舟先生に弟子入り、琵琶の研鑽を積み、現在に至る。日本琵琶楽協会会員、薩摩琵琶正協会会員。



石田克佳

昭和42年生まれ。父は琵琶製作師、石田琵琶店四世石田不識（平成18年度文化庁選定保存技術保持者）。薩摩琵琶に限らず、あらゆる琵琶の製作に携わる一方で、平成元年より薩摩琵琶奏者の第一人者である須田誠舟氏に師事。以来、琵琶の製作者および薩摩琵琶奏者として、国内外を問わず、さまざまなイベントや演奏会に参加している。薩摩琵琶正協会会員、日本琵琶楽協会会員。



鳥津義秀

昭和39年大阪府生まれ。昭和61年、大学在学時に、鹿児島県指定無形文化財の薩摩琵琶同好会「龍洋会」会長、故川野虎男師と鹿児島にて邂逅、即入門。同時に、鹿児島に伝わる幻の竹笛「天吹（てんぷく）」を故白尾國利師に、一撃必殺剣の「野太刀自顕流」を故伊藤政夫師に師事した。鹿児島に五百年前から伝わる文化財保持者の萩原龍洋師直系の正派薩摩琵琶の妙音を継承すべく、鹿児島と実家のある東京に道場を構え、指導をはじめ今日に至る。現在、精矛神社宮司の傍ら、国内各地のほか、パリ、ウィーン、ロサンゼルス、ブラジル、香港などで公演、啓蒙活動を行っている。



川村 晋平

薩摩琵琶正派弾奏者。昭和34年東京生まれ。慶應義塾大学商学部卒業、経営管理研究科修士課程修了。㈱フジテレビジョンに勤務の傍ら、「野太刀自顕流剣術」を鹿児島の野太刀自顕流研修会にて一丁田 四郎先生に師事、「薩摩琵琶」を東京の正協会において須田誠舟先生に師事する。日本琵琶楽協会並びに薩摩琵琶正協会会員として定期演奏会に出演するほか、靖国神社例大祭において奉納演奏を務める。



上川路直光

号「龍聲（りゅうせい）」
昭和51年8月18日 鹿児島県指宿市生まれ。平成11年、鹿児島県無形文化財「薩摩琵琶同好会」入会。同年、薩摩琵琶「龍洋会」入会。「龍洋会」創始者、故「萩原秋彦」（龍洋）の高弟「伊藤政夫」（龍絃）より師事。現在、鹿児島市上之園町、「共研舎道場」において、龍洋会共研舎道場主宰。受賞歴：平成24年度 かぎん文化財団賞受賞。

